

教育政策リーダーコース

地方教育行政のトップリーダーを育成する全国で唯一のコース

教育政策リーダーコース コース長 澤野 幸司

教育変革期における地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなっています。国や自治体の動向、社会の変容、市民の意向など、教育に関する情報を収集・整理し、自らの教育観を通して目標を立て、その実現に向けて行動する存在となることが求められています。

このような中、本学に設置された「教育政策リーダーコース」は、日本で初めてとなる、現職の教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部養成コースであり、修了生の多くが地方教育行政のリーダーとして活躍しています。

教育政策リーダーコースでは、教育行政を専門とする専任教員や豊富な客員教員と、応用力・知識・実践のプログラムを用意し、多忙を極める学生のために、学修形態を、教員が地元に出向いて行う講義と、双方向のオンライン授業やVOD（ビデオ・オン・デマンド）による視聴学習、神戸キャンパスにおける集中演習とし、学生が学びやすいものとしています。

国、都道府県、市町村の権限は何から来ているのか、根拠をもっておかなければならない。前例をそのまま受け付けるのではなく、なぜそうなっているのかを考えることが大事。正統性をもって堂々と取り組まなければならない。

(教育政策リーダーコース 元教授 日渡 円(初代コース長) 講義での発言より)

教育長に着任してからも、自身の知識・経験のアップデートを図り、資質・能力を伸ばそうとする姿勢が極めて重要である。

(文部科学省「令和の日本型学校教育」を推進する地方教育行政の充実に向けた調査研究協力者会議(令和5年7月19日))

特徴

地元で学べる新しい授業スタイル 最新の高度な専門的知識・実践力が身に付くカリキュラム



地元等への
大学教員の出張講義



神戸キャンパスでの
集中演習や自治体フィールドワーク



各地域での教育行政
トップリーダーセミナーへの参加



“Web会議形式”を併用した教育政策
課題研究における発表・研究指導



海外教育行政機関での実習

※神戸での授業以外は学生の地元等で授業を実施(授業は土日等の休日)

経験豊富で専門性の高い教員による講義

令和8年4月現在

教授	澤野 幸司	客員教授	青木 栄一	客員教授	天竺 茂	客員教授	新井 肇	客員教授	今中 博章
教授	川口 貴大	客員教授	遠藤 洋路	客員教授	小川 正人	客員教授	貝ノ瀬 滋	客員教授	加治佐哲也
助教	三浦奈々美	客員教授	合田 哲雄	客員教授	佐藤 晴雄	客員教授	露口 健司	客員教授	富田 明德
		客員教授	藤川 聡	客員教授	細田真由美	客員教授	マルック・アンティンルオマ	客員教授	間嶋 勉
		客員教授	水本 徳明	客員准教授	阿内 春生	客員准教授	大島菜穂子	客員准教授	葛西 耕介
		客員准教授	匝瑳 岳美	客員准教授	矢田 匠				

共通基礎科目

	授業科目名	単位数
共通基礎科目	カリキュラム・マネジメント	2
	多様な授業方式・形態とその支援体制	2
	生徒指導の学校体制と教育委員会の危機管理	2
	特別支援教育の実際と改善課題	2
	地域教育経営と教育委員会の学校経営改善施策	2
	現代教育の理念と背景	2
	地域と学校	2

実習科目

	授業科目名	単位数
実習科目	教育政策トップリーダーインターンシップⅠ(海外教育行政機関)	2
	教育政策トップリーダーインターンシップⅡ(自治体行政機関)	2
	教育政策トップリーダーインターンシップⅢ(自治体教育機関)	2
	教育政策トップリーダーインターンシップⅣ(他自治体)	4
	教育政策トップリーダーインターンシップⅤ(自治体等発展)	2

専門科目

	授業科目名	単位数
専門科目	教育行政マネジメント特論演習Ⅰ(情報収集・分析・構想)	2
	教育行政マネジメント特論演習Ⅱ(企画・実行・判断)	2
	教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ(組織人事)	2
	教育行政リーダーシップ特論演習Ⅱ(理念浸透)	2
	教育政策実践論	2
	教育行財政の立案と分析	2
	地方自治体行政論	2
	教育法規の理論と実践	2
	教育政策・教育行政特論	2
	生涯学習特論	2
	学校論	2
	比較教育政策論	2
	教育政策課題研究	8

▶修了要件(履修方法)

共通基礎科目:12単位 専門科目:24単位 実習科目:10単位
(実習科目は職務経験等により、免除となる場合もあります。)

2年間の学びの流れ(例)

		前期	後期
1年次	基礎科目	「カリキュラム・マネジメント」「地域と学校」 「特別支援教育の実際と改善課題」 「多様な授業方式・形態とその支援体制」	「生徒指導の学校体制と教育委員会の危機管理」 「地域教育経営と教育委員会の学校経営改善施策」
	専門科目	「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ」 「教育政策実践論」「教育法規の理論と実践」 「学校論」	「教育行政マネジメント特論演習Ⅱ」 「教育行財政の立案と分析」
		「教育政策課題研究」	
科目実習		「教育政策トップリーダーインターンシップⅠ」 フィンランド共和国	
2年次	科目	「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ」	「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅱ」
	専門科目	「教育政策課題研究」	

▶ 修了生の声 -コース修了後の歩み-

まさか自分が『夢』への挑戦



大野 正人さん 教育政策リーダーコース第7期生 広島県安芸太田町教育委員会 教育長

私は、故郷でもあり長年教職に就いた兵庫県を離れ、縁もゆかりもない広島県でこの職を拝命している新人教育長です。「まさか自分が教育長に」、これが正直な感想です。なぜなら、日本では市町村の教育長は地元から選ばれるというのがスタンダードであり、その機会に恵まれない人材が他の自治体でこの職に就くことなど、夢のまた夢だったからです。その夢を現実のものにしてくれたのが、著名な先生方のご指導の下、全国の仲間とともに歩んだコースでの学びです。学びは決して簡単なものではありませんでした。それは、教育長や教育政策リーダーは、最新の高度な専門的知識と実践力をもとに教育行政にイノベーションを起こせる人材でなければならないからです。

私の「夢」への挑戦は始まったばかりです。コースでの学びを胸に、町民のための教育行政を、正統性を持って進めていきたいと思っています。

▶ 学生の声 -学び続けることへの挑戦-

一歩踏み出す



大野 恵美さん 教育政策リーダーコース第10期生 神奈川県川崎市総合教育センター所長

「一歩踏み出す」という言葉は、私が担任時代に子どもたちに伝えてきた大切な思いです。しかし、自分は以前から本コースへの憧れはあったものの、挑戦をためらっていました。「このまま教育人生を終えてよいのか」と悩んだ末、一歩踏み出し、扉が開きました。

その先には、日本の教育行政を長年支えてきた先生方から、深い知見や実践を学べる濃密な学びの場がありました。理論や政策の背景とともに現場の状況を重ねて話し合う時間は、私のこれまでの考えを大きく変えていきました。

仕事との両立は決して容易ではありませんが、全国各地の熱い思いをもつ同期と、子どもたちの未来のために学び合い励まし合えることは何よりの力になっています。

予測困難な時代を生きていく子どもたちに関わる大人として、これまでの学びを積み重ねながら、これからも「一歩踏み出す」ことを大切にしていきたいと思っています。

Q1 教育長でなくても入学は可能でしょうか。

A1

本コースは教育長及び教育行政幹部職員の養成コースですので教育長でなくても入学は可能です。志願要件は、「現に地方教育行政の職に就いている者、または教育機関、官公庁、民間企業等で10年以上勤務し地方教育行政の職に就くことを希望する者」としています。コースには、教育長のほか、教育行政職員、校長・教頭、学校事務職員など様々な職の方が在籍しています。

Q2 授業はどのように受講するのですか。

A2

学生の要望等を踏まえた時期・場所で受けることができる「フレックス&プレイスカリキュラム制度」を導入しており、教員の授業を収録したDVDやそのネット配信でフレックスに学ぶことができる「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」、学生が一堂に会する神戸キャンパスでの「集中演習」や「フィールドワーク」の組み合わせを基本として受講していただきます。

また、これらとは別に、専門科目「教育政策導入領域」4科目の授業内容の一部にもなっている全国各地で開催する「教育行政トップリーダーセミナー」に参加いただくことになります。

Q3 直接出向いて参加しなければならない授業にはどのようなものがありますか。

A3

授業はハイフレックス型(オンラインと通学による対面授業を選択できる)により実施しますが、演習や実習等では神戸(神戸キャンパス)や各地において対面により実施することもあります。「教育行政トップリーダーセミナー」では、一般の参加者とともに開催地で受講していただきます。その他、選択する科目によっては現地の教育機関等を訪問し調査を行う「フィールドワーク」を実施する場合があります。

Q4 地元での受講方法は。

A4

神戸での授業以外は、コース教員が学生の地元へ赴き授業を行う「出張講義」と「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」となり、地元で授業を受けていただくことになります。出張講義日程は教員と学生間で調整します。原則、授業は土日等の休日に実施します。なお、近隣に他の学生がいればその学生との合同授業となる場合があります。また、「VOD方式講義」は、自宅等で都合のよい時間に受講していただきます。

Q5 入学科と授業料は。

A5

入学科は28万2,000円、授業料は1年間で53万5,800円になります。

※在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます。

※本コースは、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金の対象講座に指定されています。対象となる方は入学科や授業料の一部についてハローワークから支給を受けることができます場合があります。



神戸キャンパス

〒653-0036
神戸市長田区腕塚町5-2-1
新長田キャンパスプラザ7階
TEL 078-642-2500



▶ アクセス

新長田駅から徒歩約7分

- 大阪方面から
JR神戸線で新長田駅下車(新快速は神戸駅で普通に乗換え)
阪急/阪神神戸三宮駅でR普通に乗換え、新長田駅下車
- 姫路方面から
JR神戸線で新長田駅下車(新快速は明石駅で普通に乗換え)
山陽板宿駅で神戸市営地下鉄に乗換え、新長田駅下車



コース案内サイト

問い合わせ先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1
TEL: 0795-44-2359 FAX: 0795-44-2011
E-mail: guidance-info@ml.hyoغو-u.ac.jp

兵庫教育大学大学院 入学相談室

兵庫教育大学 検索